



令和5年10月13日(金) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
農産園芸課	米麦大豆係	吉田 和史 中田 恵美	内線 4117 直通 058-272-8439 FAX 058-278-2692

県育成水稻新品種「清流のめぐみ」新米フェアを開催します

県では、生産者と米卸、県が協働して、新たなブランド米産地づくりに取り組む「オーダーメイド型米産地づくり」*¹を推進しています。

今回、オーダーメイド型米産地づくりによって生まれた水稻新品種「清流のめぐみ」をPRするため、岐阜県庁舎内食堂、食堂前物販スペース及び第34回岐阜県農業フェスティバル会場にて、「清流のめぐみ」産地づくり研究会*²が、下記のとおり新米フェアを開催します。

記

1 「清流のめぐみ」を味わう食堂セットメニューの提供

日時：令和5年10月23日(月)～27日(金)

場所：県庁舎内食堂

内容：セットメニュー、カレー、丼物のご飯に「清流のめぐみ」を使用。

1日400食。

*10月23日(月)に取材対応いたしますので、取材を希望される方は、県庁舎内食堂前に11時20分までにお越しください。

2 「清流のめぐみ」を味わうおにぎりとお米を生産者が販売

日時：令和5年10月25日(水)午前11時～午後2時

場所：県庁舎内食堂前物販スペース

内容：新米5kg袋、2kg袋、3合パックの販売

新米を使ったおにぎり(塩むすび+具材入)の販売

新米の試食、パネル展示

*販売は、「清流のめぐみ」産地づくり研究会メンバーが実施します。

3 第34回岐阜県農業フェスティバルにおける生産者による新米PR

日時：令和5年10月28日(土)～29日(日)

場所：OKBぎふ清流アリーナ内

内容：新米5kg袋、2kg袋、3合パックの販売

新米の試食、パネル展示

※1 オーダーメイド型米産地づくり

生産者と米卸、県が協働して、生産技術や品質の向上、販路開拓などに関する活動を行うことで、生産から販売までの一貫体制を構築する取組み。

※2 「清流のめぐみ」産地づくり研究会

「清流のめぐみ」の販売開始を機に、産地化の取組みを本格化させるため、令和5年3月に「清流のめぐみ」産地づくり研究会を設立。

○会 員

生産者22名、米卸2社、全国農業協同組合連合会岐阜県本部米穀部米穀販売課、(一社)岐阜県農業会議、岐阜県(事務局：農産園芸課)

○座 長 アグリード(株)代表取締役 安藤重治

○活 動

生産技術及び品質向上に関する活動

生産、販売に関する課題解決に向けた活動 等

<参考>

○新品種「清流のめぐみ」の概要

「清流のめぐみ」は、夏季の高温に強く、台風の強風を受けても倒れにくく、食味がコシヒカリと同等に良い新たな水稻品種を、県農業技術センターが開発。

特性を有望視した米卸が生産者と連携して、令和3年に「オーダーメイド型米産地づくり研究会」を設立。令和3年に栽培実証を行い、令和4年から販売用に栽培を開始し、令和4年11月に販売開始。

○品種名の由来

岐阜県の清流で育った美味しいお米を印象付け、清流が与えてくれた「めぐみ」である米として、令和3年に「オーダーメイド型米産地づくり研究会」会員の協議により命名。

○米袋、のぼり、法被のデザイン原画

水稻生産を学ぶ農業高校2校(岐阜農林高等学校、大垣養老高等学校)の生徒から、品種名からイメージした米袋のデザイン原画を募集し、研究会員により協議し、決定。

○令和5年の栽培状況

栽培面積 25ha、栽培者数 19名

